



Challenge!

地域おこし協力隊 活動レポート

担当… 蛇川 裕 隊員
あぶかわ ゆたか
vol.20

唐辛子農家として就農&魅力発信！

11月に千葉県柏市より移住しました。協力隊として、唐辛子『栃木三鷹』の栽培・PR活動を行っています。

大田原市が国内トップクラスの生産量を誇る栃木三鷹は、他の唐辛子よりも辛味が強く、香りが良いことが特徴です。

現在、農業知識ゼロの状態から、栃木三鷹の栽培指導を受けています。また、唐辛子の認知度向上のため、市内小学校での唐辛子体験会の開催や、県内外のイベントで栃木三鷹のアピールをしています。そして、「一家族1唐辛子」が市内に定着し、栃木三鷹を「マイ唐辛子」として持ち歩くようになってもらえたらと思います。そのために、唐辛子とその関連商品の開発や、唐辛子を使用した料理の発信などをしていきたいと考えており、やりたいことが溢れている毎日です。

こうした活動が実を結び、大田原市が唐辛子で全国的に注目され、観光客や移住者の増加に繋がればと思っています。



収穫された『栃木三鷹』



『栃木三鷹』の畑にて



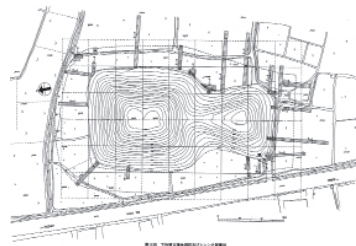
活動の様子をフェイスブックに投稿しています！

問政策推進課

TEL (23) 8794

なす風土記ものがたり

那須の古墳



前方後方墳のかたち
(下侍塚古墳墳丘測量図)

3世紀ごろ

より、日本各地で全国的に大規模な墳墓である古墳が造られるようになり、古墳時代がはじまりました。西日本を中心に、大型の前方後方墳が築造される一方で、古墳時代前期(3

世紀後半〜4世紀)ごろ、那須地域では、栃木県内でも早い段階で、上・下侍塚古墳など那珂川沿いに6基の前方後方墳が造られました。

古墳時代の墓の形や大きさの違いは、葬られる人が属した階級の違いを示しているものと考えられますが、那須の広い地域と那須の人々を治めた豪族は、前方後方墳に統一して埋葬されたようです。

古墳時代中期(5世紀初頭)には、下野では田川や思川を中心に大型の前方後方墳が造られる一方で、那須地域では円墳が主流になり、小型化し築造数も減少します。古墳時代後期(6世紀末)には、那須地域では小型の円墳・前方後方墳が造られています。

2月9日(土)より、三館連携テーマ展「今年は古墳」を開催しています。なす風土記の丘資料館では、「那須・塩谷の前方後方墳・円墳」をテーマに、第一会場を那珂川館、第二会場を湯津上館で実施します。ぜひご来場ください。

問なす風土記の丘湯津上資料館

TEL (98) 3322

知って得するくらし情報

vol.4

ごみの出し方

■4月から小型充電式電池の拠点回収が始まります

●対象…ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池、モバイルバッテリー(機器本体)

※モバイルバッテリーを除く機器本体は対象外です。



●回収場所…市役所、黒羽支所、湯津上支所

●注意事項…火災の恐れがありますので、回収ボックスに入る前に、ビニールテープなどで端子部を絶縁してください。

■ビンの出し方

飲料や食品、食用油、調理用油、飲み薬、酒類の空きビンは、**中身を出して**水ですすいだから、色分けして「指定のコンテナ」へ寝かせて出してください。キャップや注ぎ口(中栓)はできるだけ、外してください。ラベルは剥がさないで結構です。茶色と黒色、無色か薄い色など**ビンの色で迷った時は、「その他の色のビン」として、緑色のコンテナに入れてください**。中身が取り出せない(固まってしまったり、キャップが開かないなど)ビンは、コンテナに入らずに、ガラス類の指定袋で出してください。



無色のビン
(青色のコンテナ)



その他の色のビン
(緑色のコンテナ)



茶色のビン
(茶色のコンテナ)

問生活環境課

本2階 TEL (23) 8706

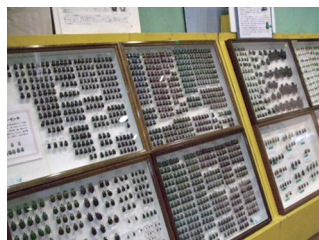
自然観察館だより

TEL (28)3251 □ <http://kansatukan.jp/>

■いろいろな甲虫を見て、感じて、楽しもう！

「おもしろ甲虫のなかま展」は、3月10日（日）まで

甲虫を見るときのおもしろさは、大きさ・形・色彩の違いを自分の感性で素直に味わい・楽しむことかと思えます。日本や世界の変化に富んだ甲虫のなかまたちが、皆さんのお越しをお待ちしております。



●おすすめの一品

コガネムシのなかまでも特に美しいコガネムシを展示しました。キンギンプラチナコガネ、ビクトリアウグイスコガネ（写真右下）は光沢があってとても美しいです。



■第8回「昆虫の絵」コンクール・・・審査結果

市内保育園・幼稚園・認定こども園の園児を対象にした第8回「昆虫の絵」コンクールがこのほど開かれ、12園、534名から作品応募がありました。入賞作品33点の中から最優秀賞は次の3名に決まりました。

- ・年少の部 いそ はると さん(明星館幼稚園)
- ・年中の部 こばやし ゆら さん(保育園ペビ-インベル)
- ・年長の部 さかもと りゅう さん(明星館幼稚園)

磯さんの作品 小林さんの作品 坂本さんの作品



■世界のチョウ・日本のチョウ展

3月16日（土）からスタート

館内は早くも春。多種多様なチョウたちが、一足早く皆さんを春の気分にしてくれます。色彩豊かなチョウの装いを、どうぞお楽しみください。

■閉館日…毎週月曜（祝日を除く）、祝日の翌日（日曜を除く）

■開館時間…午前9時～午後5時（入館は午後4時まで）

天文館だより

■イベント情報■

【双眼鏡で春の星空を見よう】

●日時…3月30日（土）午後7時30分～9時30分（曇天・雨天時は内容を変更し終了時刻を早めます。）

●場所…ふれあいの丘天文館

●内容…双眼鏡の各部の名前や働きを学んだ後、対象が一つの円内にはっきりと見えるように操作方法の練習をします。一人で上手に操作できるようになったらテラスに出て恒星や星雲・星団などを観望します。



●観望対象…冬と春の主な星座の恒星、星雲や星団など

※天候により観望できないことがあります。

●対象…小学校4年生以上の一般。（小・中学生は保護者同伴。）

●費用…小中学生100円、大人300円（イベント対応の入館料）

●定員…15名（先着順）

●申込方法…イベント前日までにイベント名を必ず告げて電話で申し込み。事前予約者のみの参加で、当日参加はできません。

●その他…月、木星や土星などの惑星は定期的に観望できません。双眼鏡は、天文館所有の同一製品の物を使用します。

【街角観望会】

●日時…3月16日（土）午後6時～7時（16日が曇天・雨天時は、17日（日）同時刻に実施）

●場所…東武宇都宮百貨店大田原店西側食品口

●内容…「月」を口径6センチと10センチの2種類の天体望遠鏡で観望します。小さい方で全体の様子を、大きい方では明るい部分と暗い部分の境目付近にあるクレーターの変化に富んだ地形を眺めていただきます。



月 イメージ

●対象…一般。お買い物のついでに気軽にお立ち寄りください。

●費用…無料

●その他…両日とも曇天や雨天の時は中止です。

☆☆ 木星や土星の観望適期 ☆☆
観望希望の多い木星や土星の夕刻の観望適期は、今年は木星が6月下旬から、土星は7月下旬から共に約3カ月間ずつととなっています。予約の電話の際にご確認されると安心です。

問 ふれあいの丘天文館 TEL (28)3254

□ <http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

